

【研究名】 バセドウ病治療経過中に阻害型抗TSH受容体抗体による甲状腺機能低下症を発症した症例における甲状腺重量推移の検討

【研究の実施体制】

この研究は伊藤病院における単施設での研究です。

1. 研究責任者：伊藤病院・学術顧問 吉村 弘
2. 研究分担者：伊藤病院・内科 廣瀬 玲

【概要】

バセドウ病の薬物治療中に阻害型抗TSH受容体抗体（以下、TSBAbs）が出現し甲状腺機能低下症を発症することがありますが、この経過中に甲状腺重量がどのように変化するかを調べた報告はありません。この研究では、甲状腺機能低下症の発症前後での甲状腺重量の推移を解析し、病態の解明につなげることを目指します。

【研究対象】

- 1) 2003年以降に当院で抗甲状腺薬治療を受けたバセドウ病患者のうち、治療経過中にTSBAbsによる甲状腺機能低下症を発症し、その前後に甲状腺重量が測定された患者。
- 2) 2003年以降に当院で抗甲状腺薬治療を受けて寛解したバセドウ病患者のうち、発症時と寛解後の甲状腺重量が測定された患者。

【方法】

- 1) 解析期間：  
2023年12月より約2年
- 2) 解析方法：
  - ①後方視的検討
  - ②伊藤病院データベースより上記研究対象症例の臨床データを抽出し解析する。
- 3) 統計処理  
解析ソフト JMP を用いる。

【予想される不利益及び利益】

既存の試料および情報を用いるため、対象となった患者様にリスクはないと考えられます。本研究による利益は現時点では明らかではありません。今後、研究がすすむことによって病態が解明されると、同じ病気の患者様に将来的に利益となる可能性があります。

【研究協力の任意性と撤回の自由について】

試料および情報がこの研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたし

ませんので、下記へお問合せください。研究に協力されない場合も患者様に不利益が生じることはありません。

**【個人情報について】**

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

**【費用について】**

本研究の実施にあたり患者様への費用が生じることはありません。また特定の企業との利害関係はなく、本研究の実施もしくは成果に企業が影響を及ぼすことはありません。

**【連絡先】**

伊藤病院 内科 廣瀬 玲、吉村 弘

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前 4 丁目 3 番 6 号

電話 03-3402-7411